



早期返還を全国に伝わるよう発信していきたい」と力強く

## 都心から過去最多なる世論喚起

― 北方領土返還要求中央アピール行動12/1 ―

土を訪れた山本一太沖繩北方担当相が「1日も早い解決の決意と、問題解決に向け全力で取り組む」と激励し、また、元島民代表の柏原榮さんからは、「返還がかなわない怒りと無念の想い、希望と願いを声にして行進する」と決意表明がされました。

引き続き行なわれたアピール行進では、国民総意の証として47都道府県旗を揚げ、「島を返せ」とシュプレヒコールを行いながらこぶしを突き上げ、約47分をかけ銀座中心街を行進し、一日も早い北方領土の早期返還実現に向けて世論の結集を訴えました。

北方領土問題の早期解決に向け、国内世論を盛り上げることを目的とした今年で8度目となる北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡会主催の「北方領土返還要求中央アピール行動」が、東京都内で過去最高の95団体、約50人の参加のもと行われました。

千代田区にある日比谷大音楽堂で開かれた出発式では、主催者を代表して長谷川市長が「声が続く限り、北方領土



四島返還を訴える水晶島出身の柏原榮さん

あいさつ。来賓を代表して、9月にビザなし訪問で北方領

## 高校生が創り上げた初の祭典

― ハイスクールフェス11/23 ―



8校の校旗の下、書道パフォーマンスを行う高校生

根室管内8校の高校生・高等養護学生が、日頃の学習成果を発表する道東初の試み「ハイスクールフェス2013 in Nemuro」を総合文化会館にて行いました。

このイベントは、学習成果を地域住民に伝え、社会的マナーを学び、社会の一員として意識向上と、地域の特色を再認識する機会として、根室管内社会教育委員会が主催したもので、開催地となった根室の高校生たちが実行委員会を発足し、企画しました。

当日は、8校14人の生徒たちのほか、地域の人々で賑わいを見せ、サブテーマである



賑わいを見せる販売ブース

「私たちが創り上げる地域の色」のとおり、各校の代表者がそれぞれの学校紹介をしたほか、一市四町の特色・特産物の紹介や販売などを行いました。特に、各校の販売ブースでは、商品が短時間で完売するほどの盛況ぶりでした。

イベント終了後、委員長を務めた多田里奈さん（根室高校2年）は、「初めての試みで、手探りの状態でしたが、素敵なイベントにできたと思います。私たちも、もっと地域貢献していけるように頑張りたいです。」と話してくれました。

これからも、次世代を担う高校生たちの活躍に期待しましょう。

## グッと掴んでバツと切る!

― 水産食育授業11/27 ―



光洋中学校（近藤基司校長）が、根室おさかな普及委員会（市内4漁協女性部長）を講師に招き、浜の母ちゃん「直伝」の調理実習を行いました。

2年生2クラス（62人）は、「水産都市ねむろ」について、市職員から漁業形態などの説明を受け、引き続き行われた調理実習では、明るい浜の母ちゃんたちからサンマのさばき方、刀汁の作り方などを教わり、意気揚々と包丁を握った生徒たちでしたが、悪戦苦闘。母ちゃんに激励されながら調理に励みました。

実習後は、おいしい刀汁に舌鼓をうち、「自宅でも実践してみようと思います。」と笑顔で話していました。